

地域再生計画書本体新旧対照表

旧	新
<p>地域再生計画</p> <p>1～3 (略)</p> <p>4. 地域再生計画の目標</p> <p>(目標 4)通行の安全の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すれ違い困難な箇所^{の改善} 6 箇所→3 箇所 ・ 待避所の確保 12 箇所 ・ 異常気象時の危険な箇所^{の改善} 20 箇所→7 箇所 <p>5.目標を達成するために行う事業</p> <p>(5-1) 全体の概要</p> <p>・ 新宮市熊野川町(合併前の熊野川町)と那智勝浦町を結ぶ「林道田長谷線」の改良事業、新宮市熊野川町(合併前の熊野川町)と田辺市を結ぶ「林道ホイホイ坂線」の改良事業を行うことにより、地域間の時間短縮と広域的な森林整備の推進が図られる。那智勝浦町の小阪地区と口色川地区を結ぶ「林道小阪大野線」、西中野川地区の「林道西中野川線」の改良事業を行うことにより、県道那智勝浦町古座川線等へのアクセスがよりスムーズになり広域的な森林整備が図られる。串本町佐部地区の「林道上野山佐部線」の改良事業により、上野山地区と佐部地区の集落間道路として安全性の向上、国道 42 号線の緊急時の迂</p>	<p>地域再生計画</p> <p>1～3 (略)</p> <p>4.地域再生計画の目標</p> <p>(目標 4)通行の安全の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すれ違い困難な箇所^{の改善} 6 箇所→3 箇所 ・ 待避所の確保 12 箇所 ・ 異常気象時の危険な箇所^{の改善} 20 箇所→7 箇所 ・ <u>拡大崩壊の未然防止</u> <u>1 箇所→0 箇所</u> <p>5.目標を達成するために行う事業</p> <p>(5-1) 全体の概要</p> <p>・ 新宮市熊野川町(合併前の熊野川町)と那智勝浦町を結ぶ「林道田長谷線」の改良事業、新宮市熊野川町(合併前の熊野川町)と田辺市を結ぶ「林道ホイホイ坂線」の改良事業を行うことにより、地域間の時間短縮と広域的な森林整備の推進が図られる。那智勝浦町の小阪地区と口色川地区を結ぶ「林道小阪大野線」、西中野川地区の「林道西中野川線」の改良事業、並びに<u>小阪地区と那智山を結ぶ「林道大戸妙法線」の改良事業</u>を行うことにより、県道那智勝浦町古座川線等へのアクセスがよりスムーズになり広域的な森林整備が図られる。串本町佐部地区の「林道上野山佐部線」の改良事業により、上野山地区と佐部</p>

回路としても利用できる。

林道の改良により、現地への交通の便の改善により森林施業の効率化と間伐等の森林の整備・保全を効果的に進め、通勤時間の短縮により労働環境の改善も期待できる。

また、新宮市熊野川町篠尾地区(合併前の熊野川町篠尾地区)は合併前の熊野川町内唯一のバス路線であるが道路が狭く長きにわたり市道西敷屋篠尾線の改良を行ってきたが、残り 600m で全線が改良され地区住民の医療機関、町中心部等への利便性が確保できる。

現在、事業中である那智勝浦道路は新宮市と那智勝浦町を結ぶバイパスで、交通渋滞の緩和、産業、観光の活性化・医療（救急搬送時間の短縮）などを担うことが期待されている。「井関後市梨線」はこのバイパスから新宮市立医療センター周辺への取り付け道路であり、病院へのアクセスの確保を図るとともに救急患者搬送時間の短縮に努める。

市町道の認定日

昭和 28 年 4 月 1 日(西敷屋篠尾線)

紀南地域森林計画

平成 16 年計画登載(西中野川線)

平成 16 年計画登載(小阪大野線)

平成 16 年計画登載(上野山佐部線)

平成 16 年計画登載(田長谷線)

平成 16 年計画登載(ホイホイ坂線)

(5-2)法第 4 章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金事業を活用する事業

地区の集落間道路として安全性の向上、国道 42 号線の緊急時の迂回路としても利用できる。

林道の改良により、現地への交通の便の改善により森林施業の効率化と間伐等の森林の整備・保全を効果的に進め、通勤時間の短縮により労働環境の改善も期待できる。

また、新宮市熊野川町篠尾地区(合併前の熊野川町篠尾地区)は合併前の熊野川町内唯一のバス路線であるが道路が狭く長きにわたり市道西敷屋篠尾線の改良を行ってきたが、残り 600m で全線が改良され地区住民の医療機関、町中心部等への利便性が確保できる。

現在、事業中である那智勝浦道路は新宮市と那智勝浦町を結ぶバイパスで、交通渋滞の緩和、産業、観光の活性化・医療（救急搬送時間の短縮）などを担うことが期待されている。「井関後市梨線」はこのバイパスから新宮市立医療センター周辺への取り付け道路であり、病院へのアクセスの確保を図るとともに救急患者搬送時間の短縮に努める。

市町道の認定日

昭和 28 年 4 月 1 日(西敷屋篠尾線)

紀南地域森林計画

平成 16 年計画登載(西中野川線)

平成 16 年計画登載(小阪大野線)

平成 16 年計画登載(上野山佐部線)

平成 16 年計画登載(田長谷線)

平成 16 年計画登載(ホイホイ坂線)

平成 19 年計画登載(大戸妙法線)

(5-2)法第 4 章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金事業を活用する事業

<p>「施設の種類(事業区域)、実施主体」</p> <p>(略)</p> <p>「事業期間」</p> <p>・市町道(平成 17 年から平成 21 年度)、林道(平成 17 年から平成 21 年度)</p> <p>「整備量及び事業費」</p> <p>・市町道 1.5km、林道 23.6km 総事業費 1,403,000 千円 市町道 700,000 千円 (内交付金 350,000 千円) 林道 703,000 千円 (内交付金 323,700 千円)</p> <p>(5-3)その他の事業</p> <p>1,緑の雇用事業…森林の持つ公益的機能に着目し、環境保全事業を展開することにより雇用を創出し都市からの人口流動を進め定住を促し、地域の活性化を図る。</p> <p>2,籠ふるさと塾…有機農業をめざして新規農村移住者の受け入れ施設で、滞在施設と実習体験が受けられる。当施設で体験後入植希望者を受け入れ地域の活性化を図る。</p> <p>3,バスネットワーク…路線バスの走っていない地域の循環バスやデイサービスバスで高齢者等の移動手段の確保。 上記事業は道路整備により、さらなる利活用が可能となる。</p>	<p>「施設の種類(事業区域)、実施主体」</p> <p>(略)</p> <p>「事業期間」</p> <p>・市町道(平成 17 年から平成 21 年度)、林道(平成 17 年から平成 21 年度)</p> <p>「整備量及び事業費」</p> <p>・市町道 1.5km、林道 <u>24.078km</u> 総事業費 <u>1,429,110 千円</u> 市町道 700,000 千円 (内交付金 350,000 千円) 林道 <u>729,110 千円</u> (内交付金 <u>333,321 千円</u>)</p> <p>(5-3)その他の事業</p> <p>1,緑の雇用事業…森林の持つ公益的機能に着目し、環境保全事業を展開することにより雇用を創出し都市からの人口流動を進め定住を促し、地域の活性化を図る。</p> <p>2,籠ふるさと塾…有機農業をめざして新規農村移住者の受け入れ施設で、滞在施設と実習体験が受けられる。当施設で体験後入植希望者を受け入れ地域の活性化を図る。</p> <p>3,バスネットワーク…路線バスの走っていない地域の循環バスやデイサービスバスで高齢者等の移動手段の確保。 上記事業は道路整備により、さらなる利活用が可能となる。</p>
--	--